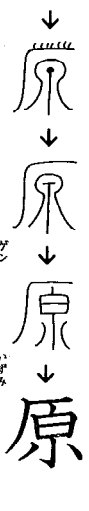
原

二年　画数 10　筆順 一 厂 厂 厂 原
オン ゲン
クン はら

成り立ち



がけのかたちをあらわした〝厂〟と、〝泉〟（がけのちそうのあいだから〝わき出る水〟）〟とを組み合わせた字で、〝水源（みなもと）〟といういみをあらわした字です。〝源〟のもとの字です。それで、「ものごとの〝はじめ〟」とか〝おこり〟といういみにつかわれます。

また、〝はら〟と読んで「たかくてたいらなところ（高原）」のいみにもつかわれます。

〔原の〝厂〟が「高くて平らな土地」を表す。〝野〟が「低くて平らな土地」を表すのに対する。合わせて〝原野〟または〝野原〟という。

〝原子〟〝原始〟は本義による語だが、〝原野〟の用法が生じたので、〝源〟という字が作られた。〕

使い方

▽ひと口に平地といっても、ひくくて平らな〝平野〟と、高くて平らな〝高原〟とあります。

▽アメリカの原住民は白人でも黒人でもありません。日本人とよくにたアメリカインディアンです。

熟語例

▽高原（高くて平らになっているひろい土地）

▽原野（高原や平野。しぜんのままのひろい野原）

▽平原（平らな野原。うみにちかいのが平野。うみからとおいのが平原）

▽原住民（もとの住民。その土地にはじめに住みついた人のこと。）

▽原色（色々な色の〝もとになる色〟のこと。赤青黄を〝三原色〟といいます。）

▽原文（もとの文章。ほんやくしたり、ひょうげんに手をくわえていない、もとのままの文章のことです。）

▽原則（もとになる法則）

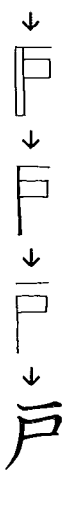
▽原案（もとになる文案。はじめのかんがえ）

▽原始（原も始も〝はじめ〟。いちばんのはじめ。ものごとのはじめ。世のひらけはじめ）

戸

二年　画数 4　筆順 一 ヨ 戸
オン コ
クン と

成り立ち



〝門〟の左はんぶんのかたちをあらわしたものです。〝かたほうにだけにひらく〝戸〟のことをあらわした字としてつかわれます。

いえに出入りするところにもうけられた〝戸〟のことで、〝とびら〟ともいいます。

また、〝いえ〟にかならずあるものですから〝いえ〟といういみにもつかわれます。

〔戸は片開きのもので、両開きのものは〝扉〟という。〝扉〟は〝とびら〟と読まれるが、これは〝戸開〟の意味であるから、〝戸〟と区別した読みかたではない。戸も扉も〝と〟であり、また〝とびら〟でもある。〕

使い方

▽戸外のいい空気をすって、うんどうすると、からだがじょうぶになります。

▽戸をはげしくたたくおとがしました。おおかみが、子ぶたをたべにやってきたのです（『三びきの子ぶた』より）。

▽戸をあけると、まぶしい日のひかりと、いい花のかおりが、ながれこんできました。

▽日本は、むかし鎖国といって、外国にたいして門戸をとざしていたことがありました。

▽さいきん、わたしのすんでいる町は、きゅうに戸数がふえました。

熟語例

▽戸外（いえの外。とびらから出た外）

▽門戸（門と戸。出入り口のことをさします。）

▽戸数（いえの数）